

ドッグスピリッツ 2010 年度活動のご報告



●わんこお助け隊「犬のしつけ方相談会」開催報告

・2010 年度の開催概要は以下のとおりです。

開催日程	場所	相談件数	お助け隊	
4月11日	海の中道海浜公園ドッグラン	2組	3名	
5月5日	大濠公園	7組	8名	
6月5日	西部運動公園ドッグラン	7組	8名	
7月10日	大濠公園	※雨天中止		
9月4日	ペットショップわんわんイオン伊都店	7組	6名	
10月2日	西部運動公園ドッグラン	※雨天中止		
11月20日	大濠公園	16組	8名	見学1名
12月5日	西部運動公園ドッグラン	13組	7名	
2月19日	ペットショップわんわんイオン伊都店	4組	6名	見学1名
3月21日予定	大濠公園			



〈相談会実施報告：わんこお助け隊リーダー 中山圭〉

相談内容として多かったのは主に「犬の吠え」に関する相談でした。

具体的な相談内容としては「他の犬に吠える、知らない人に吠える、室内での警戒吠え、インターホンに吠える、などがありました。

他に「他犬と仲良くできない、室内でのイタズラ・破壊行動、トイレの失敗・室内マーキング、などのご相談もいただきました。

カウンセリング時に、こちら側からの一方的な話や説明が長くなり過ぎてしまいがちだという反省点から、昨年度（2010年度）は「飼い主さんの話をしっかり聞く」「飼い主さんになるべくたくさん質問する」などを改善のテーマとして行ってきました。飼い主さんの話をしっかり聞いて、飼い主さんのことを「少しでも理解しよう」という姿勢がとても大切なことなのでは、と感じました。

飼い主さんたちと私たちが「より良い関係作り」ができて、初めて飼い主さんたちの前向きな気持ちへの後押しもうまくできていくのではないかと思います。

〈活動に参加して：栗田礼子〉

宮武先生からドッグスピリッツの活動と参加についてご紹介していただいたとき、正直なところ私の気持ちとしては「自分のために、犬についてさらに多くの事が学べる」にちがいないと思っていました。

ただ、そういう利己的な動機であれ何であれ、それまでの動物愛護活動に消極的であった私を、ドッグスピリッツの「愛」と「調和」のあふれているボランティア活動の場へとひっぱり出して下さるものでした。

ひとことで動物愛護といっても、その関わり方は様々で、自分の愛犬との関係をより豊かなものにする事もひとつ、他の犬や動物たちに敬意を払うという事もひとつ、その犬達の里親となることもひとつ……。

そんな中、ドッグスピリッツの活動は、犬が適切に終生飼育されるための情報提供や飼い主のモラル向上のための教育活動など、平易ないい方をすれば「簡単に捨てたり捨てられたり」しないために飼い主さんと一緒になって考えましょう、というより積極的な取り組みでした。

今、私の足元で気持ちよく寝息を立てている愛犬のその寝顔に癒され、この平和で幸せな時間を、より多くの犬たちの生活もまたそうしたボランティア活動を通して愛と平和に満ちたものでありますようにと願っています。

最後に、私の好きな作家、北山耕平さんから教えていただいた平原インディアンのネス・パース族のいいたえより“いかに話すかを学べ。そしてそれを学んだら次はいかに教えるかを学べ”ありがたいことに、今わたしはその両方の事柄をわんこお助け隊の活動を通して得られているのです。愛と感謝と共に。

〈活動に参加して：佐竹美保〉

こんにちは。ドッグスピリッツの活動をお手伝いさせていただくようになってようやく数カ月が過ぎました。私はもともと、高校を卒業してすぐに宮武先生の犬の教室でスタッフとして数年間、学ばせていただきました。当時は完全なる犬世界の住人だと思っていました。

しかし、あまりにも私自身が社会化されていない！ということで、一度、犬の世界を離れて人間世界へ修行に出ることにしました。その間、誘惑に負けないように、人社会への社会化のためにと「犬断ち」をしていたのですが…セミナーをきっかけにまたもや犬の正解に足を突っ込んでしまいました。

「なぜドグスピ*なの？」と聞かれても「ドグスピだからです。」と答えるしかないくらいに導かれた（と勝手に思い込んでおりますが…）というか、ココだ！と思うものがあつたというか、うまく言葉にできません。

ドッグスピリッツの活動を通してたくさんの人に出会い、たくさんの方のことを学び、そしてたくさんの方のことに気付かされ、日々感謝。「いいな」と日々実感しています。「ありがとうございます」を言うたびに「こちらの方こそ、ありがとうございます！」という気持ちが生まれます。私の方が皆さんからたくさんの方の教をいただいています。

私に出来ること。犬たちの声を少しでも飼い主さんに伝える事が出来ればと思います。そして、彼らの本当の姿を皆さんに少しでも知っていただければと思います。まだまだ半人前の私ですが、今後ともよろしくお願いします。
(ドグスピ*→ドッグスピリッツの略称)

●勉強会の開催 2010年1月23日

勉強会は会員の意識向上と責任ある活動のために定期的に開催しています。わんこお助け隊の相談会の開催時は開催前後に短い時間のミーティングを重ね、雨天時は集まったメンバーで勉強会を行っています。そのほかに全ての会員が参加できる勉強会も開催しています。1月23日開催の勉強会は宮武が講師を務めさせていただきました。お助け隊メンバーが中心の会でしたが見学者も含め参加者の積極的な質問もあり有意義な勉強会となりました。今年も勉強会を開催していきます。

<勉強会に参加して学んだこと：古賀美帆>

勉強会に毎回参加する度に感じるのですが、相談会中に気づけなかったことに気づけます。(自分自身で振り返れる。ああいう風に伝えればよかったな、とかあの話も絡めていけたかな、別のアプローチできたよね・・・という風に。他の隊員の話聞いていて気づくことも多いです！)

今回の勉強会は今までの振り返りメインの勉強会とは少し違ったスタイルで、相談会を想定したロールプレイングを行いました。出題された問題に解答していくのも「人によって、質問の仕方によってこうも中身が変わるのか」と発見でした。

仕事でカウンセリングすることはもちろんありますが、伝え方や切り口というのか・・・1つの問題に対して掘り下げていく、そのもって行き方が深まったな、と思います。

それを踏まえて相談会に臨みましたが、やはり今までとは違った手ごたえのようなものは感じました。今まで多頭飼育のことを2頭同時に相談されたり、相談内容が多いと「時間がない！どこから話せばいいのかわからない！」と焦ってしまっていたのですが、今回はそれも無く比較的スムーズに話ができました。ロールプレイング形式の勉強会に参加されていない隊員の方はぜひとも参加していただきたいです！決められた時間の中で効率よく話を進める方法がわかります。

書き取りの練習もできたらいいのかな、と思いますが・・・いい方法を思いつけないので隊長にお任せすることにします！

<勉強会に参加して学んだこと：松永瞳>

今までの勉強会の内容にプラスアルファの中身で、課題を与えられて答えるロールプレイングと実践を想定してのシミュレーションなどもありました。

その中でも、自分の知識を伝えることばかりを考えてしまい、また考えてもなかなか言葉として出ない場合もあり…。大切なことである「話しを聞く対象である飼い主さん自身に自ら考えてもらうということをしていなかった。」ということにも気づかされました。

私には課題が山積みで、しつけ方相談会に自分がお役に立てているのか疑問に思っておりますが、勉強会は頭だけではなく心構えとしての勉強にもなり、とても有り難く、そして楽しく学ばせていただきました。



●ドッグスピリッツホームページの「活動日記」に掲載されているブログ

「まるとまる子の愛と調和に溢れた生活」のご紹介

フレンチブルドッグのまるちゃんの飼い主さんのご協力によりほぼ毎月更新のコラムです。とても楽しくそしていろんなことを考えさせられる「飼い主のためになるコラム」ですので、ホームページをご覧になれない方のために昨年度に掲載されたものからひとつだけこちらに転載させていただきます。

まるとまる子の愛と調和に溢れた生活 by まる子 vol.22

ワンコも「うちのコ歴」が長くなってくると、だいたい何を言わんとしているかわかってくるような気がしてきます。

よそ様のわんこの言葉には「今のどういう意味？」ということがあっても、うちのコの場合はなんとなくわかる。

感じる…とでも申しましょうか。お友達わんこの飼い主さんに「今のはどういう“ワン！”なの？」と私が尋ね、その答えがすぐ返ってくるということはよくあります。

そして逆にうちのまるのことを「今のこの状態はどういう意味？」と聞かれて、私が答えるということも…。もちろん、今でも新しい発見といえますか、長年の思い込みが「あ、そうだったの！？」とあっけなくとけることもあります。

…先日その「長年の思い込みがあっけなくとける出来事」…、というより、飼い主の怠慢と思い上がり？？？でまるにちよいと気の毒なことをしてしまいました。

—その日は休日外出後(まるはお留守番)、ソファでうつらうつらしておりました。…つーか、わりとがつつり情眠をむさぼっておりました。その心地よいふわふわタイム中、「カシッ…、カシッ…、カシカシカシカシ…」という音がちよいちよい聞こえて来ました。

その音で、あっちの世界からこっちの世界へちよいちよい引き戻され、また戻り…を断続的に繰り返していました。

その「カシカシ」の音の主は「まる」で、寝室へのドアをカシカシ(前足で叩く?)していたのです。

ふわふわタイム中にもそれはわかっていました。…わかっていたから放っておいたというか。

まるは普段寝室でお留守番しているのですが、その間「コング」という玩具？におやつなどを詰めて渡しています。

「お留守番の友」です。で、コングはお留守番→お散歩の後、寝室から回収します。

コングの中に取り出しきれなかったおやつが残っていることが多く、散歩から帰って一段落して私が回収に行かないと、まるはコングの回収を催促します。その方法は寝室のドアの前でおすわりしていることもあれば、私をじっと見つめることもあれば…、この「カシカシ」をすることもあります。てな感じなので、その日も「コングの回収の催促」だろうと思い、すでに回収を済ませていた私は「無いものは無いんです。」と情眠をむさぼっておりました。

…一緒に確認に行けば良かったのにつて！？

…そしたらこれから先しつこく「カシカシ」やりかねない！と思ったのさ！！

まるを放置プレイで気持ちよくお昼寝してちょっと余裕ができた私(^_^;)、「もしかして他の理由があるとか？？」と寝室のドアを開けました。するとまるは、水の入った器へダッシュ！皿を抱える勢いで水をガンガン飲んでいました。

…リビングの水入れはカラになっていました…。

なんてこったい。ごめんなさい。額にあざができるほど土下座したい気持ちでいっぱいでした。(してませんが。)

「いつものパターン」に甘んじて、今のまるの声に耳を傾けることをさぼってしまいました。

一話はビミョーに違うかもしれませんが、今朝テレビで「動物面白映像」とやらの特集をやっていました。その中でリコーダーにあわせて「ウオウウオウ」と歌う？わんこが紹介されていました。飼い主さん曰く「このコはリコーダーの音が“好き”で、他の楽器では反応しない」とのことでした。「反応する」＝「そこに“好き”の感情があるのかどうか」は本犬にちゃんと聞いてみないとわからない気がします。（このワンコは本当に“好き”なのかもしれませんが。）

ニンゲンはイヌのリアクションをつい、ニンゲンと重ねて受け取ったり、「尻尾をふる＝喜んでいる」のように、記号化して受け取ったりしがちに思います。でも緊張や警戒…苦手意識が根底にあって尻尾をふる場合もあります。よく考えたらニンゲンだって「口角を上げて“笑って”いる」けど「目は笑ってない」ということは多々あるかな…と。（笑）わんこ達が送ってくれるいろんなサインやおしゃべり…。本当に奥が深いというか、とてもシンプルで大切なことに思えます。



PS:「長年の思い込み その他の例」です。

まはるは散歩の前、カラーをつける時必ずあくびをします。私はそれをずっと、カラーの「カチっ」という装着音が苦手なのだと思っていました。宮武先生にアドバイスをいただいて「カチ」のタイミングを遅らせてみました。ら、「カチ」の前にあくびをしていました。先生曰く、「もしかしたら、“カラー＝散歩”の図式が出来上がっていて、カラーの装着によって今から散歩へ出かけるという緊張感が高まり、あくびがでているのかも？」とのことでした。…そんな発想、これっぽっちもありませんでした。(^^)ゞ

（転載はココまで）

●その他のお知らせ

現在予定している「わんこお助け隊による無料 犬のしつけ方相談会」は以下のとおりです。

- | | | |
|-----------|-------------------|----------------------------------|
| 3月21日（月祝） | 大濠公園 | 10時～13時 |
| 4月3日（日） | トリミングショップ トゥーティッキ | 10時～14時 事前予約制
（チャリティーバザー同時開催） |
| 5月5日（木祝） | 西部運動公園 | 14時～17時 |

●ニューファミリー募集中

現在、会員の自宅に一時預かり中です。
家族として迎えて下さる方を求めています。
犬種 ミニチュアダックス 性別 メス
年齢 推定4歳くらい
健康状態 良好ですが痩せているのでリハビリをしながら体力をつけています。
詳しく知りたい方は以下へお電話ください。

中山 TEL 090-7474-2408

★新しい飼い主さんを探しています★



●会員のみなさまにお願い

みなさまご多忙のところドッグスピリッツの活動を支援して下さりありがとうございます。わんこお助け隊による相談会の活動は月1回ペースで定期的に活動を行っております。毎回の参加は難しいという方もお気軽にご参加ください。会員のみなさんが集まって話をする事で新しい力が生まれることでしょう。活動の連絡が自分には来ていないという方は、お手数ですがドッグスピリッツまでご連絡ください。関心のある方には相談会、勉強会、全体会などにお気軽にご出席いただけますので、周囲の方へお声かけください。

2010年度 会計報告

前年繰越	641,274		
収入		支出	
会費	11,500	消耗品費	10,655
雑収入	236	通信費	28,039
		交通費	14,100
		雑費	5,000
収入計	11,736	支出計	57,804
次年繰越	595,206		

(単位：円)
(会計 神田・監査 倉)

会費→2010年度より会費を変更しております。活動会員1口500円、賛助会員1口1000円

交通費→相談会参加会員に会からの交通費の一部負担としての1人当たり1回につき300円を支出しています。

2011年度 更新の手続き

次年度の会員更新書を添付させていただきました。活動に参加できない方もぜひ更新していただき引き続きご支援ください。更新の手続きについては更新書に記載しておりますのでご確認ください。

●編集後記

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。被災した犬猫などの家族にも支援の手が延ばされています。私たちは4月のバザーの収益金を被災地での救済活動に参加する団体へ寄付することを決めました。募金もあわせて行います。行動できる方がいる場合にはそれを応援しながら、私たちがまた今ここでできることをみなで考え行動し、これを機に未来の人と動物にとって良きことを選択する力を身につけていきましょう。

「わたしたちにできることから始めよう」からスタートしたドッグスピリッツも、今年度の2011年で5年目を迎えることになりました。ドッグスピリッツは、犬との暮らしを通してたくさんの気づきを得られた会員のみなさんが、犬と暮らす人々とそれを分かち合うという「愛」と「調和」を動機として活動を続けてきました。

「知る事」から始まり、それが「伝える事」になり、そして「分かち合う」という関係を知る。私たちの中から生まれる分かち合いの心が、犬との暮らしをそして私たちの暮らす社会を本来の望む方向へ進む力となります。

本当に伝えたいことを伝えるには向き合う時間が必要です。伝えることとは自分が余計に知っていると思っていることを相手に押し付けることではありません。「伝える事」は、本来は相手を知っていることを共に思い出し、そしてそれを「分かち合う」ことだからです。今年は共に歩いている仲間たちと「伝える事」の難しさ、「向き合う事」の難しさに直面し、それを成長の糧とし「分かち合い」へとつなげてまいりましょう。「分かち合い」は物質的なものばかりではありません。こんな時代だからこそ犬たちのメッセージを実践する会として今年も成長いたします。(宮武)